



特集	P 2
第2回 親子で遊ぼう-Family Friendly Event-	
事業報告	P 3~5
日本語ボランティアスキルアップ研修会ほか	
外国人エッセイ 私の何でも自慢	P 6
ハリス・ゾーイさん	
外国人のための情報コーナー	P 7
おすしおふれんどリーなおもてなしマーク	
ピーチマーク	
作ってみよう! 世界のレシピ	P 8
トルコ料理 ピデ	
JICA寄稿	P 8
「JICAデスクって何しとるん?」	
ボランティア活動しています!	P 9
宮崎 香奈さん	
コンシェルジュ便り	P 9
令和5年度語学講座	P 10

おかやま 国際交流



Okayama Prefectural International Exchange Foundation

〈3言語での上方落語の読み聞かせ〉三度笠に風呂敷包みを背負った旅のあきんど役(英語)と、あきんどが途中で立ち寄る峠のお茶屋のおやじ役(ベトナム語)を熱演するスタッフ。それぞれの日本語訳は関西弁で行った。



令和4年
11月23日(水・祝)開催

令和4年度 第2回「親子で遊ぼう-Family Friendly Event-」

人気メニューの一つである「多言語での絵本の読み聞かせ」で、今回初めて上方落語を題材にしました。おなじみの古典『猫の茶わん』を英語・ベトナム語・日本語(関西弁)でどこまで表現できるかチャレンジしました。荷物をかついだ旅の商人(あきんど)役や峠のお茶屋(茶店)のおやじ役(ふんそう)の扮装も取り入れ、見た目も楽しんでもらえるよう工夫しました。

また、「HELLO FROM JAMAICA!」のコーナーでは、講師の出身地のジャマイカとオンラインでつなぎ、現地の子どもたちと英会話のセッションをしました。日本と昼夜逆(時差14時間)のジャマイカの子どもたちとのリアルタイムの英会話は、参加者に好評でした。

(次ページに特集あり)

令和4年度第2回親子で遊ぼう -Family Friendly Event-

令和4年11月23日(水・祝)

シャキリア イー マクファールン-クルーシャンク

講師: Shakeria E. McFarlane-Cruikshank 氏 (英会話講師、ジャマイカ出身)
ダウ ティ タイン クイン 氏 (環太平洋大学 ベトナム出身)

前事業「絵本の読み聞かせ」をリニューアルして始まった「親子で遊ぼう-Family Friendly Event-」も4回目となりました。

今回は、英語以外の言語にも触れてもらうため、英語・ベトナム語・タガログ語を母語とする講師やボランティアをそろえ、多言語・多文化ならではのイベントを企画しました。

一番の人気メニューは、ジャマイカとのセッション『HELLO From JAMAICA』。海外とつないでオンラインかつオンタイムの英会話をすることを紹介すると、保護者からは「へ〜」「すご〜い」と声が上がリ、会場の期待値がぐっと上がりました。オンライン独特のタイムラグ等の難しさがあったものの、参加者はみな講師とジャマイカ側との会話に聞き入っていました。



ジャマイカとのセッション中

二番目に人気だったのは最後のダンス「HOCKEY POCKEY」です。これはリズムカルな明るく楽しいダンスです。音楽に合わせて、みんなで掛け声をかけながら元気に踊りました。その他、前述の「上方落語の読み聞かせ」をしたり、



クイン講師(左下)との会話
(ベトナム語も併用)

短編絵本をベースに「読み聞かせ」ではなく「子どもたちへの話しかけ」をしたり、さらには、別のボランティアが急きょ英単語の発音講座を始めたり等、予定外も含め盛りだくさんのイベントになりました。

その中で思いのほか好評だったのが、アイスブレイクとして実施したメニューです。講師がBOXの中に入っている参加者(子どものみ)のネームカードを無作為にひき、その子どもと1対1で会話をするゲーム感覚の遊びです。今回は4人ものネイティブがそろったので、子どもたちの実践練習に絶好の機会になりました。講師がネームカードを見せて、「〇〇ちゃん、Where are you?」と呼び掛けると、子どもたちは物おじすることなく講師に近づいていきます。そして講師の目をまっすぐ見て会話を楽しんだ後は、席に戻り、うれしそうに保護者に抱き付いたり、照れくさそうに保護者の影に隠れたりしていました。

休憩時間も、講師と参加者の交流の様子があちこちで見受けられ、全体が和気あいあいとしたイベントになりました。



英語で
会話体験



キラ講師
休憩時間の
交流

日本語ボランティアスキルアップ研修会

令和4年11月23日(水・祝)

発表者:津山にほんごの会 砂田 真理氏

井原市国際交流協会 にほんご教室 三宅 康子氏

水島日本語教室 竹内 美恵氏

県内の日本語ボランティアを対象に研修会を開催しました。

はじめに地域の日本語教室で活動をしているボランティア3名から、日本語教室が抱えている課題、現況、特徴などを聞きました。後半は、県内各地域から集まった参加者17名がグループに分かれてのグループワークです。各人が活動上の悩みや困っていることを一つ一つ付箋に書き出した後、ファシリテーターのアドバイスのもと、グループで課題や解決方法などについて話し合いました。

最後に各グループが発表を行い参加者全員で共有しました。

参加者からは「学習者に対しての、何とか支援したいとの思いが同じでうれしくなった」「ボランティアの不足や学習者が長続きしないなど、いろいろと課題を抱えながらみなさん頑張っていることを実感した」などの共感や感想が寄せられました。



グループワークの様子

地球市民講座

令和4年11月26日(土)

共催:独立行政法人国際協力機構中国センター(JICA中国)

講師:基調講演

岡山大学学術研究院環境生命科学学域教授 藤原 健史氏

講演

藤クリーン株式会社経営企画部 小林 未侑氏

海洋プラスチックごみの削減のため、海外で地域住民を巻き込みながら「ごみの分別回収システム」を実装させようとしている藤原氏の基調講演や、産業廃棄物のリサイクルや環境教育などさまざまな事業を通して地域住民とのつながりを大切にする藤クリーン株式会社の小林氏の講演を通し、資源を循環させる社会づくりについて学びました。

後半のトークセッションでは、地元大学生の筒井寛太郎さんがパネリストとして加わり、岡山県JICAデスクの北脇氏の司会のもと、協働の大切さや一人ひとりの環境保護への意識づけの重要性について、活発な意見が交わされました。

36名の参加者には大学生など若年層が多く、「これからの地球環境を担う身として、今日学んだことを周囲の人にも伝え、資源を大切にできる人を増やしたい」という感想が寄せられました。



基調講演する藤原氏



藤クリーン株式会社
小林氏



活発な意見が交わされたトークセッション

第2回留学生と県民との交流会

令和4年12月10日(土)

講師:環太平洋大学 留学生5名

インドネシア ナンダナ・ファレル・カイルルラ氏

中国 張淵氏
陳丹妮氏
董濛濛氏

ベトナム ダン・クアン・ティン氏



グループに分かれておしゃべり交流タイム

交流会の前半は講師の留学生が参加者30名に向けて、デザインを工夫したすてきな発表資料とともに、食生活や国民食などを中心に出身地の文化について紹介しました。留学生自身のエピソード

トークを織り交ぜたり、クイズを出題し参加者に答えてもらったりと個性豊かな発表でした。

後半は協会コンシェルジュの留学生も加わり、少人数のグループに分かれて参加者と留学生が自由に会話を楽しみました。前半の発表内容について詳しく聞いたり、趣味や好きなことを共有したりと打ち解けた様子で会話が弾み、参加者からは「もっと話したかった」「心温かく聞いてくれて話しやすい雰囲気だった」「初めて聞く話ばかりで興味深かった」などの感想が寄せられました。



留学生がつくった発表資料

留学生等による国際理解学習支援プログラム

令和4年12月16日(金)

訪問校:里庄町立里庄西小学校 6年生A,Bクラス(58名)

講師:チャン・チ ガイ氏(倉敷芸術科学大学 香港出身)

デーワゲー・サチニ マリーシャー氏(倉敷芸術科学大学 スリランカ出身)

今年度は6校で実施しましたが、そのうち1校の様子を紹介します。

講師が各クラスを担当して、まず日本語や母語、英語を使い自己紹介をし、児童たちは一人一人英語で自分の名前、好きなもの・ことを発表したり、Nice to meet you! (ハイタッチ)と挨拶をしたりしました。

授業の前半は、講師自身が作成した映像を見ながら児童に出身地の紹介をする座学です。話の途中で発せられる児童たちからの率直で思

いがない質問に、講師もほぼ笑いながら答えていました。後半は、児童のお待ちかね『遊びの時間』です。講師からは出身地の歌や踊り、ゲームなどを、児童からは日本の遊び(はんかち落とし)をそれぞれ提案し、交流しました。また最後には児童から合奏や合唱のプレゼントがありました。

共に遊んだあとは講師と児童たちの距離がグッと縮まります。講師が学校を去る時には、たくさんの児童が名残惜しそうに「〇〇先生~!」と名前を呼びながら見送ってくれました。



児童からの質問に答える講師



児童とハイタッチで挨拶



クラスの全員で自由にポーズ

岡山県災害時多言語支援センター 設置運営訓練

令和5年1月22日(日)

講師:NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会 理事 明木 一悦氏

大規模災害時に外国人被災者への支援が必要と判断されたとき、岡山国際交流センターに「岡山県災害時多言語支援センター」が開設されます。

いざと言うときに、迅速にかつしっかりと開設できるよう、毎年設置運営訓練を行っています。



講師の明木 一悦氏



災害情報の収集に取り組む参加者

今年も1月に県及び協会、岡山市、倉敷市の職員、外部支援者の多文化共生マネージャーが参加して実施しました。訓練では、災害情報の選別や翻訳、岡山市・倉敷市との連携、避難所巡回などに本番さながら、真剣に取り組む、事後には振り返りで今後の課題を話し合いました。

パートナーシップ後援事業ESDカフェ URA 2022 『SDGsと私』～未来は私たちがつくる～

令和4年12月18日(日)

NPO法人こくさいこどもフォーラム岡山主催「ESDカフェ URA 2022『SDGsと私』～未来は私たちがつくる～」が開催されました。パートナーシップ協定の一環で、当協会も後援しました。

県内の中学生・高校生が、異なる学校の生徒同士でグループに分かれて、SDGsの17の目標について「自分たちが今できること」を話し合い、それぞれの意見を発表しました。会場は生徒たちの熱気にあふれていました。



県内の23の中学校・高校から132人が参加しました

国際理解学習プラン講師派遣事業

専門的知識と国際経験を有する県内のNGO4団体を、県内の6校に講師として派遣し、国際理解学習プランを実施しました。

派遣団体	実施校(実施順)	プラン名
岡山ユニセフ協会	岡山市立旭操小学校 ノートルダム清心女子大学附属小学校	考えてみよう 世界と自分のこと
岡山青年国際交流会	倉敷市立下津井中学校	Appreciating Differences —ちがいを理解し、受け入れるために—
特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構	岡山市立綾南小学校 倉敷市立多津美中学校	世界の多様性と格差からSDGsを学ぼう—「誰一人取り残さない」世界の実現に向けて今、私たちが知るべきことやるべきこと—
特定非営利活動法人 岡山日本語センター	岡山市立岡山後楽館高等学校	お互いの言葉や文化を尊重して、多文化共生を考えよう

外国人エッセイ

私の何でも 自信

はりす ゑーい
ハリス・ゾーイさん
(英国 バーミンガム市出身)

●井原市観光交流課
国際交流員

●日本滞在歴:8か月



2022年8月に新しく井原市の国際交流員(CIR)として岡山県にやってきたゾーイさんにお話を伺いました。

出身地について教えてください

英国で2番目に大きい都市であるバーミンガム市で生まれました。ロンドンから電車で2時間くらいの、ほかの都市や町を旅行するのに



コモンスウェルスゲームズ

とても便利なところです。昨年は「コモンスウェルスゲームズ」という大きな国際スポーツイベントがバーミンガムで開催されました。ドイツやオーストラリア以外で一番大きいクリスマスマーケットも毎年バーミンガムで開催されます。ほかにバーミンガム市中心部には世界中で有名な「Cadbury World」というチョコレート工場や、ベニスよりも多いと言われる、世界一多数の運河があります。



バーミンガムの運河

ゾーイさんの自慢は何ですか

言語の勉強です。継続してここまで来たことに誇りを持っています。ほかに勉強したことのある外国語と比べて、日本語が一番難しいです。日本語を学ぶきっかけになったのは、子どもの頃テレビで見た主人公たちが惑星の名前を持つ魔法少女のアニメです。当時は英語放送だったので日本のアニメとは知りませんでしたが、16歳の時そのことを知り、2

年後、シェフィールド大学で日本学とスペイン語を勉強することになりました。5年後、日本にもスペインにも住みましたが、自分の会話レベルに満足できず、もっとペラペラに話したかったです。何年も独学して、やっと2022年に国際交流員として採用され、日本に引っ越してきました。

久しぶりの日本はどうか

日本から10年間離れていたので不思議な感じがしましたが、飛行機を降りた時の8月のジメジメとした暑さは記憶していた通りでした。今回初めて中国地方に住んだのですが、日本の田舎の風景は全く新しい雰囲気でした。井原は畑や山などの自然がふんだんにあり、都会に暮らしてきた私にとって、まるで別の惑星みたいでした。でも、美しいと感じました。ここでの新生活を楽しんでいます。



紅葉を背景に

新しい仕事について

市民のみなさん向けに特別な英語イベントを行ったり、英会話教室を開催したり、ほかの都市に井原をPRしたりしています。クリスマスコンサートとトーンチャイム演奏のトーンチャイム演奏にも参加しました。以前の英国での在宅の仕事に比べて、毎日同僚や市民のみなさんと対面することは、本当にやりがいのある経験です。日本に住むということは、新しいことを毎日身につけることができるということです。まだまだ勉強不足ですが、私なりに井原市民のみなさんのお役に立てるようにこれからも頑張りたいです。



クリスマスコンサートとトーンチャイム演奏

がいこくじん
外国人のための

情報コーナー

ムスリムフレンドリーなおもてなしマーク ピーチマーク

ピーチマークとは

✓ 岡山市・吉備中央町・真庭市の「岡山型ヘルスツーリズム」発!

✓ 飲食店や宿泊施設、商品などについて、ムスリム対応の内容・程度などを2段階で示した独自のマーク



Peach Mark I

いんしょくてん
飲食店

- メニューの英語表記がある。
- ノン・ポークメニューがある。

しゅくはくしせつ
宿泊施設

- 英語対応可能なスタッフがいます。
- お祈りマット、キブラコンパス(*)が利用できる。

しょうひん
商品

- 原材料の英語表記がある。
- ノン・ポークである。

※キブラコンパスとは、ムスリムが携帯する生活用品で、方位磁針の一種。



Peach Mark II

いんしょくてん
飲食店

- ピーチマーク I の条件に加えて、ノン・アルコールメニューがある。
- ハラル認証肉を使用したメニューがある。

しゅくはくしせつ
宿泊施設

- お祈りの場所がある。(常設ではなくてもよい)
- トイレがお清めスペースに使用できる。
- 外国語対応可能な病院が近くにある。

しょうひん
商品

- ノン・アルコールである。

観光客ではない人にも
役立つマークだね!



岡山型ヘルスツーリズム公式ホームページ

詳しいことは岡山型ヘルスツーリズム公式ホームページやSNSを見てね!



公式ホームページ



公式IG インドネシア語

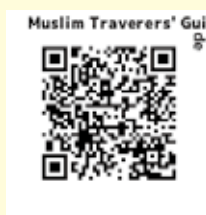


公式IG 英語

そのほかのお役立ち情報「ムスリムの観光ガイド」日本政府観光局 (Japan National Tourism Organization)



Panduan Wisatawan Muslim (インドネシア語)



Muslim Traveler's Guide (英語)



ムスリムフレンドリーな観光地に関する記事もあります

具材によって変幻自在、 船形のトルコピザ 「PIDE (ピデ)」

今回のレシピは、建国100周年を迎えたトルコ共和国の「PIDE (ピデ)」です。

中華料理、フランス料理と並び世界3大料理の一つでもあるトルコ料理ですが、実際には食べたことがない方も多いのでは？

今回は肉と野菜どちらも入ったミックスを教えてくださいましたが、具材を変えることでお好みのPIDE (ピデ) も作れます。ぜひ皆さんもいろいろな味でお楽しみください。

材 料 (6枚分)

○生地

A強力粉 …… 500g
塩 …… 小さじ2
砂糖 …… 小さじ3~4
ドライイースト …… 小さじ1
牛乳 …… 150cc
水 …… 300cc

○具材

B牛肩ロース (ブロック) …… 300g
トマト …… 3個
ピーマン …… 3個
トマトペースト …… 小さじ1
黒コショウ …… 少々
塩 …… 少々
サラダ油 …… 少々

作ってみよう！ 世界のレシピ

ハラール認証肉
を利用するムス
リムフレンドリー
な店のひとつ

作 り 方

- ① Aをボウルに入れ全体をなじませる
- ② ①に牛乳を入れ混ぜ合わせる
- ③ 耳たぶの硬さになるまで、少しずつ水を入れ生地の硬さを調整する
- ④ 生地が入ったボウルにサランラップをかけて室温で2時間ほど置く
*十分膨らんだ後に、冷蔵庫に入れば長時間保管も可能
- ⑤ Bを角切りにし、ボウルに入れる
- ⑥ ⑤にトマトペーストを入れ黒コショウ、塩、サラダ油で混ぜ合わせる
- ⑦ 生地を6等分し、打ち粉をした台の上で長さ20~30cmほどの楕円形に伸ばす
- ⑧ 具を生地の上に置き、ふちを折りたたみ船形にする
- ⑨ 250℃に予熱したオーブンで15分程度焼く

*ご家庭のオーブンに合わせて調理時間を調整してください

協力: Ali Baba Restaurant & Shisha Bar
岡山県岡山市北区柳町1丁目1-6 松原第三ビル 2F



トルコランプが彩る店内

ベジタリアン
メニューも
あります

ピデ

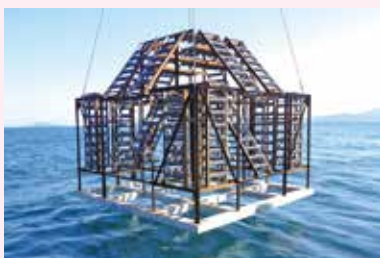


中小企業・SDGsビジネス支援事業では、日本の企業の皆様が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指しています。2010年度の制度開始以降、12年間で1,389件、うち中国地方では66件が採択されています。(※いずれも2021年度末実績)

本事業で現在調査実施されている、海洋建設株式会社 (岡山県倉敷市) の事例を紹介します。

メキシコで活躍する岡山の企業 ~海洋建設株式会社~

倉敷市の海好き集団である当社は、人工魚礁 (魚を守り育てるために海中に設置する魚の家) のメーカーです。



人工魚礁の一例 (国内にて)

最近、魚が獲れないといったニュースをよく耳にしますが、魚介類が持続的に獲れるよう国内でもさまざまな取組が実施されています。その中の一つとして、水産系副産物である貝殻を有効利用した当社製品も日本全国の海で活躍中です。

同じように魚が獲れなくなっているメキシコでも人工魚礁技術を役立てようと活動の幅を広

げています。2017年4月から2018年5月にかけて、JICAの協力を得てカリフォルニア湾沿いのラパスにて小型の人工魚礁を沈設し試験を行いました。当社製品が餌場や隠れ場などになり、効果的に魚を集め育てることができていることをメキシコの海でも確認しました。



調査会議 (メキシコ・ラパス)



調査の様子 (ラパス)

2021年9月から再びJICAの協力を得て、メキシコの漁業者を中心とした関係者と本格的なパイロット事業を行っています。数年後には魚の種類や量が増え、海洋生物の保育園になることが期待されます。

国際協力に関するご相談は岡山県JICAデスク (北脇) まで。E-mail: jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp / 電話: 086-256-2917



国際交流協会ボランティアのきっかけ

アメリカに居住経験のある母が我が家にいろいろな国からの留学生を迎え入れていた影響で、幼い頃から外国語や国際交流には深い関心があり、私自身もフランスに留学経験があります。今から10年ほど前に故郷東北から岡山県へ引っ越しをし、岡山を知るため、何より好きな分野で社会に貢献できればと思い登録させていただいたことが活動のきっかけです。

当時、仕事をするよりも先にこちらの活動をしていたため、私にとって岡山中で初めてのお友達となってくださったのが協会スタッフの皆さんでした。ボランティアを通じてご縁に心より感謝しています。

その他のボランティア活動

より幅広い活動がしたいと2019年にはラグビーW杯、2021年には東京2020オリンピック・パラリンピックボランティアに参加しました。舞台裏で選手たちの喜怒哀楽さまざまな表情を見守り、支えることができたのはとても貴重な経験でした。

昨年岡山の「芸術イヤー」には、瀬戸内国際芸術祭のサポーターである「こえび隊」に所属し、さらには岡山芸術交流のサポーターにもなりました。

今年の夏は福岡で行われる世界水泳で、外国語対応スタッフをする予定です！

私にとってボランティアはすっかりライフワークに。これからも日本全国のみならず世界を駆け巡り、さまざまな場所で皆様のお役に立つことが私の喜びです。

選手へ本番のときを告げるアナウンス中



東京パラリンピックにてメキシコ選手と



豊島にて「こえび隊」活動時の様子

コンシェルジュ 便り

「花」と言えば…？

春と言えば、お花見の季節ですね。
コンシェルジュの出身地にはどんな花があるのでしょうか？

梅の花 (中国)

中国では、昔から真冬に梅の花見をする習慣があります。雪の中寒さに負けず咲く梅の姿を描いた詩がたくさんあります。梅は堅忍不拔、どんな環境でも美しく咲く高潔な精神の象徴とされています。(カクさん)



ホアマイ (ベトナム)

ベトナムのお正月「テト」の時、ベトナム南部ではホアマイという黄色い花を飾ります。黄色は悪霊と不運を追い払う色、富と幸運の希望の色なので、縁起が良い花とされています。(ゴック・アインさん)



蓮の花 (ベトナム)

ベトナムの代表的な花は、蓮の花です。蓮の花が咲くと、暖かい春が来たという感じがします。ベトナムでは一年中花が咲いていますが、5・6月が特に見頃です。(カーさん)



ハイビスカス (マレーシア)

赤いハイビスカスはマレーシアの国花で、一年中花を楽しむことができます。国民はハイビスカスが大好きで、お茶にしたり、「パティック」という伝統的なテキスタイルアートのパターンとして使用したりしています！(サキさん)



火炎樹 (ベトナム)

ベトナム北部の港町ハイフォンは、5月から6月にかけて火炎樹の赤で染まります。ほとんどの学校に火炎樹の木が植えられていて、試験や入試のシーズンに咲くため、この花を見て学生時代を思い出す人が多いかもしれません。(イエンさん)



日本語講座

毎週火曜日から土曜日まで日本語講座を実施しています。

- と き 火曜日 10:00~11:40 / 18:30~20:10
水曜日 10:00~11:40 / 18:30~20:10
木曜日 10:00~11:40
金曜日 10:00~11:40
土曜日 15:10~16:50
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室
- 受講料 無料(ただし、ジャパニーズクラス(会員2,000円)に入学が必要)
- 定員 入門~中級、各講座25名
- その他 1人2講座まで(希望に沿えないこともあります。)
- 申込み 企画情報課

韓国語講座

中級コースを新設しました！韓国語に興味のある方、もっと上手になりたい方などレベル別に、韓国出身の講師が楽しく丁寧に教えます。

- と き 入門 第2・4金曜日 初級 第1・3水曜日
中級 第2・4水曜日 会話 第1・3金曜日
時間 18:30~19:40(全20回)
(日程は変更することがあります)
- ところ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 対象 入門:韓国語を初めて学習する方
初級:韓国語の文字を覚えている方、入門段階を終えた方
中級:簡単な文法を覚えて自分の感情などが話せる方
会話:ある程度日常会話ができる方
- 受講料 8,000円(協会会員)、10,000円(一般)
(全20回、テキスト代別)
- 定員 各15名 ●申込み 企画情報課(4月受付開始予定)

中国語講座

中国出身の留学生が講師となり、レベル別に指導します。
前期講座は4月開始です。
各クラス無料で1回ずつ体験できますので、自分に合ったクラスを選べます。

- と き 土曜日 10:00~11:30(上級A)
土曜日 17:40~19:10(入門)
土曜日 19:20~20:50(初級)
日曜日 10:00~11:30(上級B)
日曜日 17:00~18:30(中級)
*上級A,Bのレベルは同じです。
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室(上級Aのみ)
4階 図書資料室
- 講師 県内在住中国出身留学生
- 受講料 高校生以下 16,000円、協会会員18,000円
一般 21,000円(6か月間、テキスト代別)
- 定員 上級A 12名、その他 16名
- 共催 岡山県華僑華人総会
- 申込み 岡山県華僑華人総会事務局
TEL:086-201-1076(月~金10:00~17:00)

インドネシア語講座

インドネシア語を楽しく学びませんか？インドネシア出身留学生が講師です。無料体験が1回できますのでお気軽にご参加ください。

- と き 初級 土曜日 13:00~14:45
中級 日曜日 13:00~14:45
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室(初級)
4階 図書資料室(中級)
- 講師 県内在住インドネシア出身留学生
- 受講料 15,000円(1年間、テキスト代別)+2,000円(協会会員費)
- 定員 初級 12名、中級 16名
- 共催 岡山インドネシア友好協会
- 申込み 岡山インドネシア友好協会 岡田氏
TEL:090-9731-4510

かいほうし あんけーと ねが こんご さんこう 今後の参考 に させて いただく ため、ご協力 を お願い します。

おかやまけんりつ びじゅつかん しゅうねん きねんてん コリレーション こうりゅう けいしゅう ちけつと めいさま ぶれぜんと
岡山県立美術館35周年記念展「CORRELATION-交流と継承」チケットを5名様にプレゼント！

令和5年4月15日(土)までにアンケートにご協力いただいた会員の中から抽選で5名の方に、岡山県立美術館で開催される標記
記念展(会期:令和5年5月19日(金)~7月2日(日))のチケット2名分をお送りします。

発表は発送をもって代えさせていただきます。



岡山県立美術館は、郷土ゆかりのすぐれた美術作品を収集・展示するとともに、内外の芸術活動を紹介する展覧会やイベントを開催し、県民の幅広い文化活動の発展に寄与することを目的として活動してまいりました。本展では当館開館35周年を記念して、所蔵品・寄託品を含めた5000点以上の中から選りすぐりの名品を全館とおしてご紹介いたします。

重要文化財 雪舟《傲玉澗山水図》 室町時代 岡山県立美術館蔵



会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円
賛助会員: 30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail: kokusai@opief.or.jp



最新情報は、当協会のホームページやFacebook、Twitter等で随時お知らせします。



ホームページ



Facebook



Twitter



Instagram

一般財団法人岡山県国際交流協会

企画情報課

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~17:30)

[休館日] 12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内 一般財団法人 岡山県国際交流協会
☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)
☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: https://twitter.com/opief_okayama

Instagram: https://www.instagram.com/opief_okayama/

E-mail: kokusai@opief.or.jp